

しあわせ、つながる

ピエトロ

2021年3月期 決算説明資料

2020年4月1日～2021年3月31日

株式会社ピエトロ 東証1部 2818

<https://www.pietro.co.jp/>

●本日のご説明内容

① 新型コロナウイルス感染症の影響

② 2021年3月期連結決算概況

- ・ 食品事業
- ・ レストラン事業
- ・ 貸借対照表
- ・ キャッシュ・フロー計算書

③ 2022年3月期連結業績予想

- ・ 会計方針の一部変更
- ・ 連結業績予想
- ・ 食品事業
- ・ レストラン事業

1 新型コロナウイルス感染症の影響



食品事業

第1四半期の巣ごもり需要と4月のCM効果により、
主にパスタ関連カテゴリーが前期から大きく伸長

単位：百万円

<売上高>	20年3月期	21年3月期	前期比	前期差
1 Q	1,776	2,391	+615	134.6%
2 Q	1,638	1,892	+254	115.5%
3 Q	1,807	1,972	+165	109.2%
4 Q	1,724	1,818	+93	105.4%
年間	6,947	8,076	+1,128	116.2%

	20/2	20/3	20/4	20/5	20/6	20/7	20/8	20/9	20/10	20/11	20/12	21/1	21/2	21/3	21/3計
ドレッシング	101.0%	98.7%	115.5%	98.7%	105.2%	112.3%	97.0%	111.1%	103.8%	108.8%	103.4%	98.1%	109.5%	95.6%	105.0%
パスタ関連	151.9%	202.2%	464.7%	360.2%	281.9%	243.3%	176.3%	191.4%	129.8%	118.1%	152.0%	187.4%	132.3%	89.7%	187.0%
スープ	-	-	491.5%	402.6%	172.2%	276.1%	162.1%	126.6%	224.4%	227.7%	244.8%	169.3%	306.7%	127.8%	210.4%

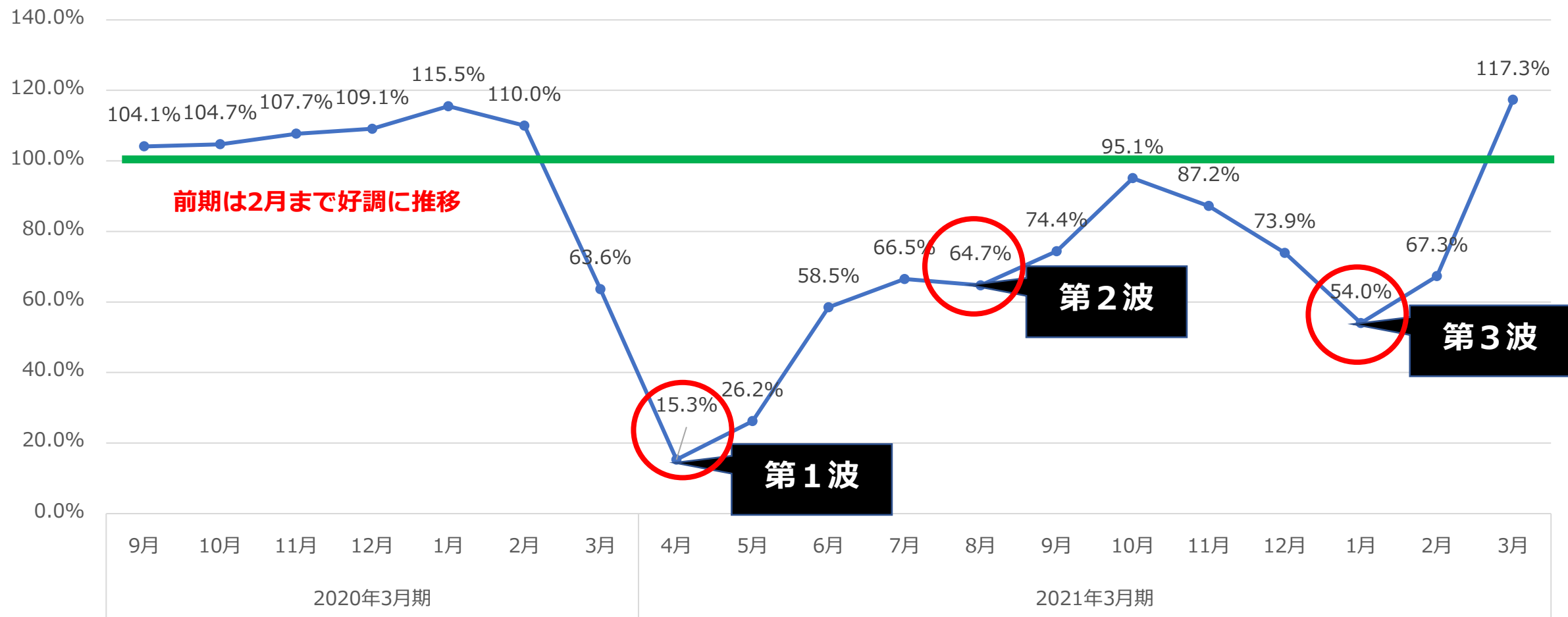
1 新型コロナウイルス感染症の影響



レストラン事業

休業、時短営業、客席間引き(感染症対策)の影響で売上減

直営既存店前年比推移



2 2021年3月期連結決算概況

**増収増益（2期ぶり）
最終利益は前期比44.8%増**

単位：百万円

項目	19/3期	20/3期	21/3期	前期 増減額	前期比 (%)
売上高	9,683	9,548	9,869	+321	103.4
売上総利益	5,796	5,766	5,874	+108	101.9
営業利益	538	486	585	+98	120.3
経常利益	530	477	575	+97	120.5
親会社株主に帰属 する当期純利益	288	221	320	+99	144.8

2 2021年3月期連結決算概況 食品事業

【売上】 3カテゴリー（ドレッシング、パスタ関連、スープ）ともに**増収**

【利益】 売上増加、販促費減少、原価低減などにより**増益**

単位：百万円

項目	19/3期	20/3期	21/3期	増減額	前期比 (%)
売上高	6,934	6,947	8,076	+1,128	116.3
営業利益	1,886	1,837	2,323	+486	126.5

2 2021年3月期連結決算概況 食品事業

＜商品価値を訴求した売り方改革推進＞

ドレッシング カテゴリー

- ・ 内食機会増加による需要増
- ・ 新商品「まろやかレモン」の増収



売上高 5,781百万円
前期比 105.0%

パスタ関連 カテゴリー

- ・ 昨年来の販路拡大、
「おうちパスタ」TVCM訴求、
巣ごもり需要増等により増収
- ・ レトルト、冷凍食品も増収
- ・ AGNESI(パスタの輸入販売)、



売上高 1,953百万円
前期比 187.0%

- ・ おうちパスタ +393百万円
- ・ レトルト +278百万円

スープ カテゴリー

- ・ 直営店舗や通販での販売強化奏功し、
増収
- ・ パーソナルギフト市場開拓に手応え



売上高 125百万円
前期比 210.4%

2 2021年3月期連結決算概況 レストラン事業

【売上】コロナ影響により減収

(休業要請期間含むコロナ影響▲672百万円)

(店舗閉店影響3店舗減▲133百万円／幕張店、ミオミオ筑紫野店、錦糸町店)

【利益】売上減による減益

単位：百万円

項目	19/3期	20/3期	21/3期	増減額	前期比 (%)
売上高	2,584	2,431	1,626	▲805	66.9
営業利益	32	▲28	▲329	▲300	—
期末店舗数	33店舗	30店舗	31店舗		

2 2021年3月期連結決算概況 レストラン事業

コロナ影響

- ・ 第1四半期 31店中15店休業
- ・ 時短営業（ディナー売上減）
- ・ 座席数減（約10%減）



＜既存店売上高＞

通期	前期比	69.5%
第1四半期	前期比	39.6%

メニュー戦略

- ・ 物販及び、
テイクアウト・デリバリーの強化
- ・ 高付加価値メニューの提供



物販売上高	前期比	265.6%
	前期差	+43百万円
客単価	前期比	+31円増

出店戦略

- ・ アフターコロナを見据えた出店
- ・ エリア戦略による、
ピエトロブランドの認知向上



パスタ&タパス業態を東京に1店舗
従来型店舗を大阪、広島に各1店舗
合計3店出店

2 2021年3月期連結決算概況 貸借対照表

単位：百万円

【連結】	2020年3月末	2021年3月末	増減
流動資産	3, 4 3 4	3, 8 1 4	+ 3 8 0
固定資産	5, 4 5 1	5, 5 8 5	+ 1 3 3
資産合計	8, 8 8 6	9, 3 9 9	+ 5 1 3
流動負債	2, 8 0 1	2, 7 7 4	▲ 2 7
固定負債	6 7 1	9 8 3	+ 3 1 1
負債合計	3, 4 7 3	3, 7 5 7	+ 2 8 3
純資産合計	5, 4 1 2	5, 6 4 2	+ 2 3 0
負債純資産合計	8, 8 8 6	9, 3 9 9	+ 5 1 3

【資産の主な増減要因】

- ・現金及び預金 +380百万円
- ・売掛金 +77百万円
- ・有形固定資産 +62百万円
- ・敷金及び保証金 +45百万円

【負債の主な増減要因】

- ・長期借入金 +406百万円
- ・未払金 ▲149百万円

【純資産の主な増減要因】

- ・前期配当 ▲128百万円
- ・当期利益 +320百万円

2 2021年3月期連結決算概況 キャッシュ・フロー計算書

単位：百万円

【連結】	2020年3月期	2021年3月期	増減
営業活動によるCF	5 2 4	6 3 9	+ 1 1 4
投資活動によるCF	▲ 2 8 1	▲ 5 6 5	▲ 2 8 4
財務活動によるCF	▲ 3 0 7	2 2 1	+ 5 2 8
現金及び現金同等物期末残高	1, 6 1 8	1, 9 1 3	+ 2 9 4

【営業活動によるCFの主な内訳】

- ・ 税引き前当期純利益 +504百万円
- ・ 減価償却費 +344百万円
- ・ 法人税の支払い ▲188百万円

【投資活動によるCFの主な内訳】

- ・ 固定資産の取得 ▲620百万円
- ・ 固定資産の売却 +173百万円

【財務活動によるCFの主な内訳】

- ・ 新規長期借入金 +611百万円
- ・ 長期借入金の返済 ▲204百万円
- ・ 配当の支払い ▲128百万円

3 2022年3月期連結業績予想 会計方針の一部変更

2022年3月期より会計方針の一部変更を実施いたします。

・収益認識基準の原則適用

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日) 及び
「収益認識に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)
を適用いたします。

これにより一部の取引に対して、収益の認識を売上高から販促費などを控除した純額(ネット)計上へ変更いたします。

※2022年3月期連結業績予想数値は、収益認識基準適用前の数値で説明いたします。

参考数値として、表右側に収益認識基準適用後の数値を記載しています。

増収増益予想

単位：百万円

項目	21/3期	22/3期計画 収益認識基準 適用前	増減額	前期比 (%)	22/3期計画 収益認識基準 適用後
売上高	9,869	10,120	+250	102.5	※ 8,860
売上総利益	5,874	6,054	+180	103.1	※ 4,795
営業利益	585	650	+64	111.1	650
経常利益	575	630	+54	109.6	630
親会社株主に 帰属する当期純利益	320	380	+59	118.5	380

※収益認識基準変更影響額 ▲1,259百万円

増配：1株あたり24円（予定）：前期 23円（21円＋記念配当2円）

3 2022年3月期連結業績予想 食品事業

前期第1四半期の特需反動を折り込み**前期並み**を予想

単位：百万円

項目	21/3期	22/3期計画 収益認識基準 適用前	増減額	前期比 (%)	22/3期 計画 収益認識基準 適用後
売上高	8,076	8,076	±0	100.0	※ 6,850
営業利益	2,323	2,323	±0	100.0	2,322

※収益認識基準変更影響額 ▲1,225百万円

3 2022年3月期連結業績予想 食品事業

増収予想 売上高 5,906百万円 前期比 102.2%(+125百万円)

ドレッシング
カテゴリー

1. 商品価値訴求の継続
2. 量販店でのさらなる店頭化

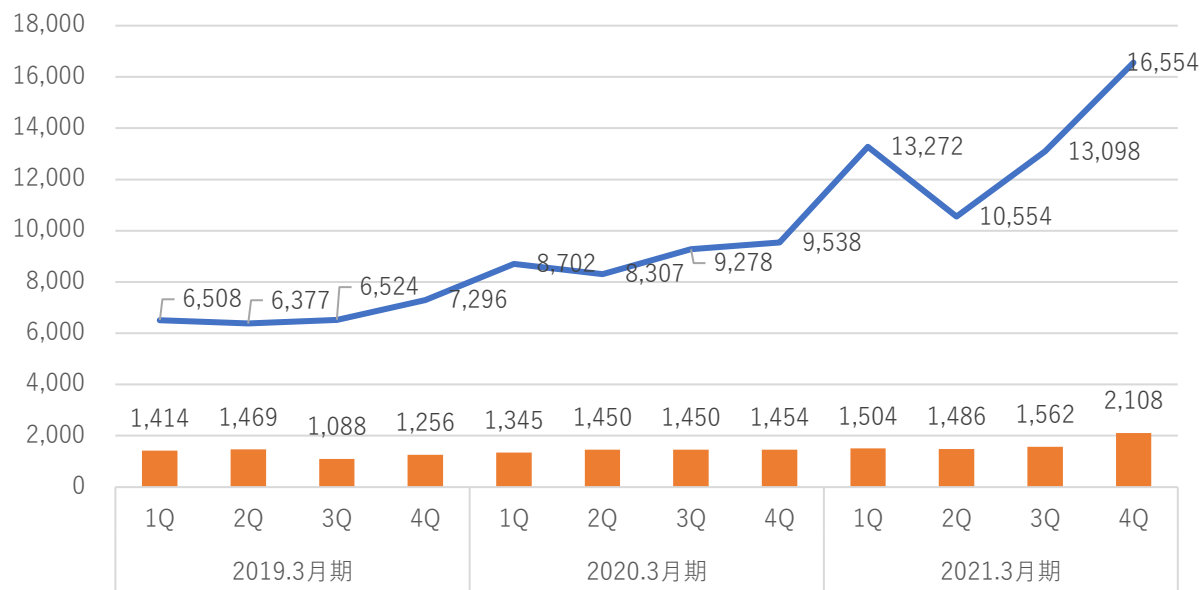
※注力商品として

- ・ドレッシング 焙煎香りごま (21年春リニューアル商品)
- ・ドレッシング まろやかレモン (20年秋新商品)
- ・フライドオニオン PATFUTTE



和風しょうゆ グリーン ライト 焙煎香りごま まろやかレモン PATFUTTE

PATFUTTE売上並びに配荷店舗数平均 (単位：千円、店舗)



配荷店舗数平均 売上

3 2022年3月期連結業績予想 食品事業

パスタ関連
カテゴリー

減収予想 売上高 1,753百万円 前期比 89.8%(▲200百万円)
前第1四半期特需反動により当期減予想

1. パスタ商品群の育成・販路拡大
カテゴリー中期売上目標 30億円（前期19億円）
2. 定期的な新商品投入
3. 冷凍製品製造ライン増設による利益率向上

【パスタ商品群】



液状パスタソース
「おうちパスタ」



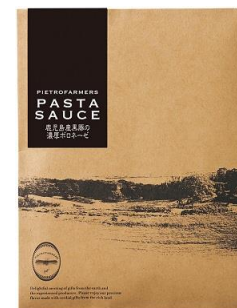
レトルトパスタソース
「洋麺屋ピエトロ」



プレミアム冷凍パスタ



プレミアムパスタ乾麺
「AGNESI」



プレミアム
レトルトパスタソース
「ピエトロファーマーズ」
※直販限定

3 2022年3月期連結業績予想 食品事業

スープ
カテゴリー

増収予想 **売上高 200百万円** 前期比 160%(+75百万円)

1. 直営店限定販売でのPIETRO A DAY (ピエトロ ア デイ)
ブランド育成
 - ・直営ショップ（横浜・名古屋・福岡など4店）+大阪新規出店
 - ・レストラン物販（今期全国37店）
 - ・通販、EC
2. レストランメニューとしての提供
3. パーソナルギフト市場の開拓推進



1日が **happy** になる SOUP



3 2022年3月期連結業績予想 レストラン事業

コロナ影響続くが、増収・利益改善を見込み**赤字減少**

単位：百万円

項目	21/3期	22/3期計画 収益認識基準 適用前	増減額	前期比 (%)	22/3期 計画 収益認識基準 適用後
売上高	1,626	1,883	+256	115.8	※ 1,848
営業利益	▲329	▲110	+219	—	▲110

※収益認識基準変更影響額 ▲34百万円

3 2022年3月期連結業績予想 レストラン事業

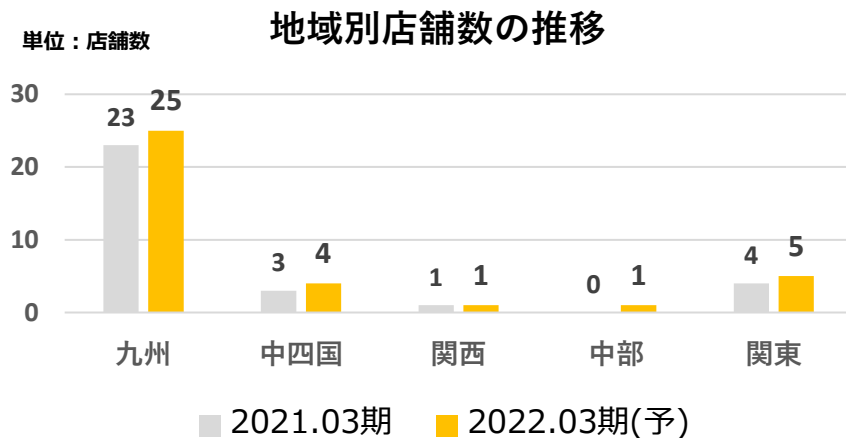
アフターコロナを見据えた2023年3月期黒字化への取り組み

1. 収益改善へむけて

- ①ディナー時間帯収益力強化
 - ・ TAPAS（タパス）メニューの投入
- ②原価率低減策
 - ・ 高付加価値メニュー投入
- ③顧客満足度向上策
 - ・ ホスピタリティ研修（リモート）の強化
 - ・ カスタマイズメニュー（脱マニュアル化）強化

2. エリアマーケティング発信機能の強化

- ・ ピエトロとの出会いの場・ファンづくり
- ・ 未出店エリアへの出店（池袋、熊本、名古屋、松山）
- ・ ファンベース経営の推進



TAPASメニュー「ボルケーノ」



当資料取扱上の注意点

当資料には、「将来の見通しに関する記述」が記載されております。将来の見通しに関する記述は現在、入手可能な情報に基づく当社の経営陣の仮定及び判断に基づくものであり、この記述には当社の業績に関する経営陣の目標、所信または予想が含まれております。過去や現在的事実に関連しない全ての記述並びに「予測する」、「見込んでいる」、「推計する」、「期待する」及びこれに類する表現の記述は将来の見通しに関する記述となります。

これら将来の見通しに関する記述は、当社の将来の業績等にかかる記述によって表現された内容を保証するものではありません。また、実際の業績等がこの資料に記載される将来の見通しに関する記述と大きく異なるリスクや不確実性があります。従いまして、当社の業績などの予測を立てられる際に、これら見通しに全面的に依拠されることはお控えくださいますようお願い致します。また、法律上必要とされる場合を除いて、当社は事前の予告なく、将来の見通しに関する記述を見直したり、将来の見通しの根拠となった仮定および要因についての変更を行うことがございますのでご了承ください。

<お問合せ先>

取締役 経理・I R部長 森山勇二

TEL/092-724-4925 FAX/092-751-4352

E-mail y-moriyama@pietro.co.jp URL <https://www.pietro.co.jp>

別添資料

● 会社概要

会社名	株式会社ピエトロ
代表者	代表取締役社長 高橋泰行
創業	1980年12月
上場	2015年12月24日 東証 1 部
資本金	10億4,238万円
事業内容	食品事業（通信販売事業を含む） レストラン事業 その他（本社ビル等の賃貸）
連結子会社	ANGELO PIETRO, INC.（米国） 合同会社のかべジファーム
発行済株式総数	6,257,230株
連結従業員数	255名
株主数	15,913名



● 沿革

ピエトロのはじまりは、一軒のレストランです。経営基本方針でもある「**おいしさと健康**」に対するこだわりと、「**お客様を大切にする**」という心からのおもてなしの気持ちこそが、ピエトロの原点であり、企業としての強みでもあります。

- | | |
|---------|---|
| ■ 1980年 | 福岡市中央区天神に洋麺屋ピエトロ創業 |
| ■ 1981年 | ドレッシングの流通販売開始 |
| ■ 1988年 | 海外でのドレッシング販売開始 |
| ■ 1990年 | ドレッシング工場竣工（福岡県古賀市） |
| ■ 1992年 | ハワイ店オープン |
| ■ 1995年 | パスタソース販売開始 |
| ■ 1998年 | 初のテレビCM全国ネット放映開始 |
| ■ 2001年 | ファストフード ミオミオ事業開始 |
| ■ 2002年 | 東京証券取引所市場第二部上場 |
| ■ 2005年 | 自社農場「のこベジファーム」（福岡市能古島）で
体験型食育イベントを開催（～2019まで継続） |
| ■ 2007年 | 日清オイリオグループとの資本業務提携 |
| ■ 2011年 | 東京・六本木ヒルズにてアンテナショップを期間限定出店 |
| ■ 2013年 | アジアへのドレッシング販売開始 |
| ■ 2015年 | 東京証券取引所市場第一部への指定承認を受ける
創業35周年 「野菜嫌いをナオソ。」35の幼稚園で食育活動 |
| ■ 2016年 | 新株式発行（増資）
工場の増改修により、生産能力が倍増 |
| ■ 2019年 | スープ事業開始 新ブランド「PIETRO A DAY」スタート |
| ■ 2020年 | 創業40周年 ファンベース経営スタート「ピエトロファンコミュニティ」をHPに創設
ドレッシングの主原料・玉ねぎの品質保持の目的で冷蔵保管・加工工場「第三工場」を竣工 |

パスタ専門店「洋麺屋ピエトロ」を
福岡市中央区天神に創業



発売から
40年以上の
ロングセラー

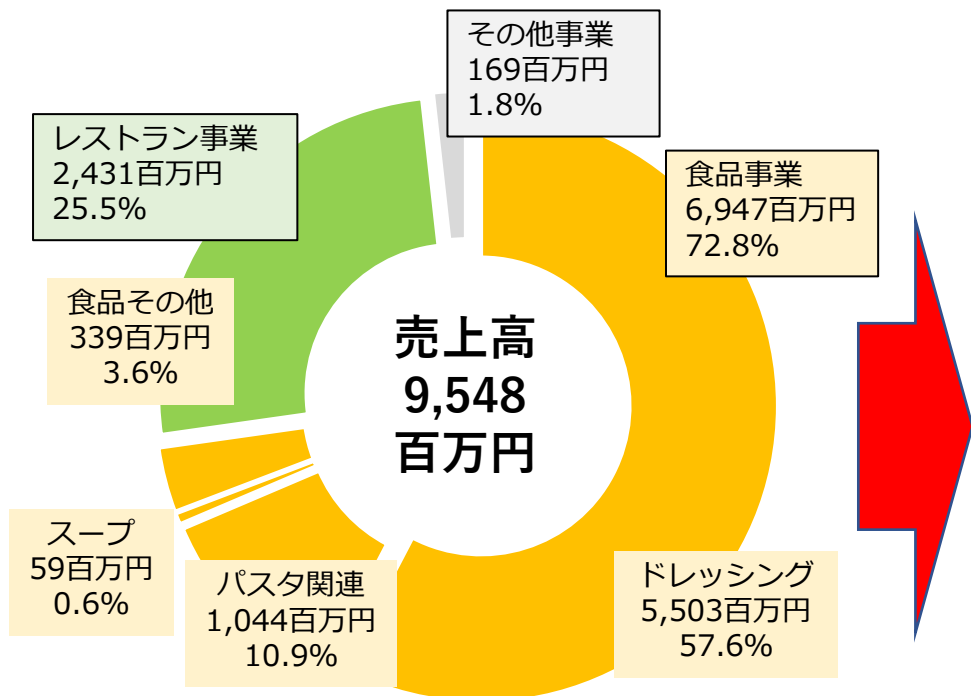


ピエトロファンコミュニティ創設



● 事業構成

2020年3月期
売上高構成比



食品事業

レストラン生まれの高品質な商品が
特長

家庭用向けに高価格帯商品を
製造・販売

- ①ドレッシング
- ②パスタ関連(冷凍食品含む)
- ③スープ
- ④その他

レストラン事業

ピエトロ創業からの事業
パスタ専門店などを経営

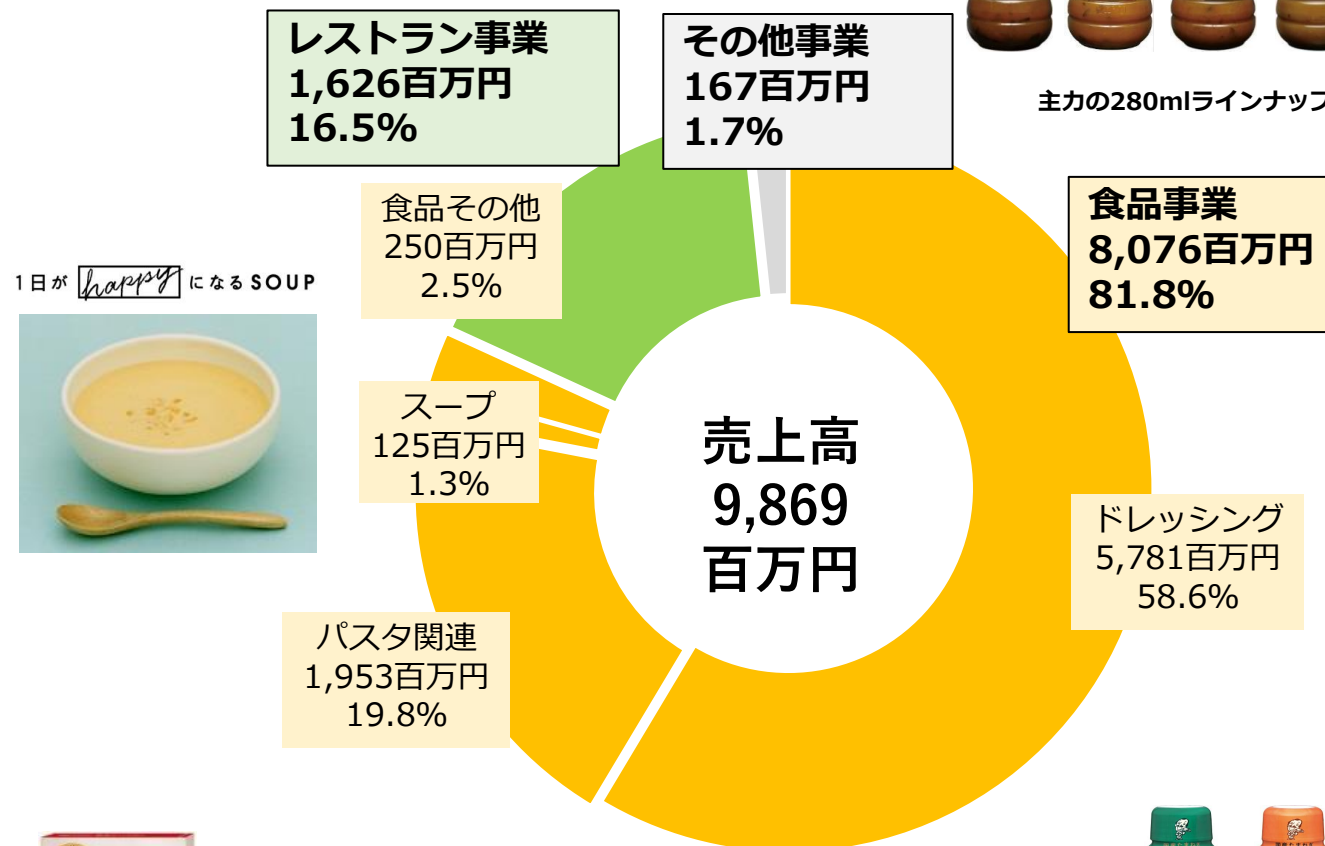
<店舗数>

- ・直営 19店舗(うち海外1店舗)
- ・F C 12店舗 ※2021.03現在

その他

本社ビル等の賃貸。

2021年3月期
売上高構成比



1日が *happy* になる SOUP



洋麺屋(レトルト)



洋麺屋(冷凍)



シェフの休日(冷凍)



おうちパスタ



PATFUTURE



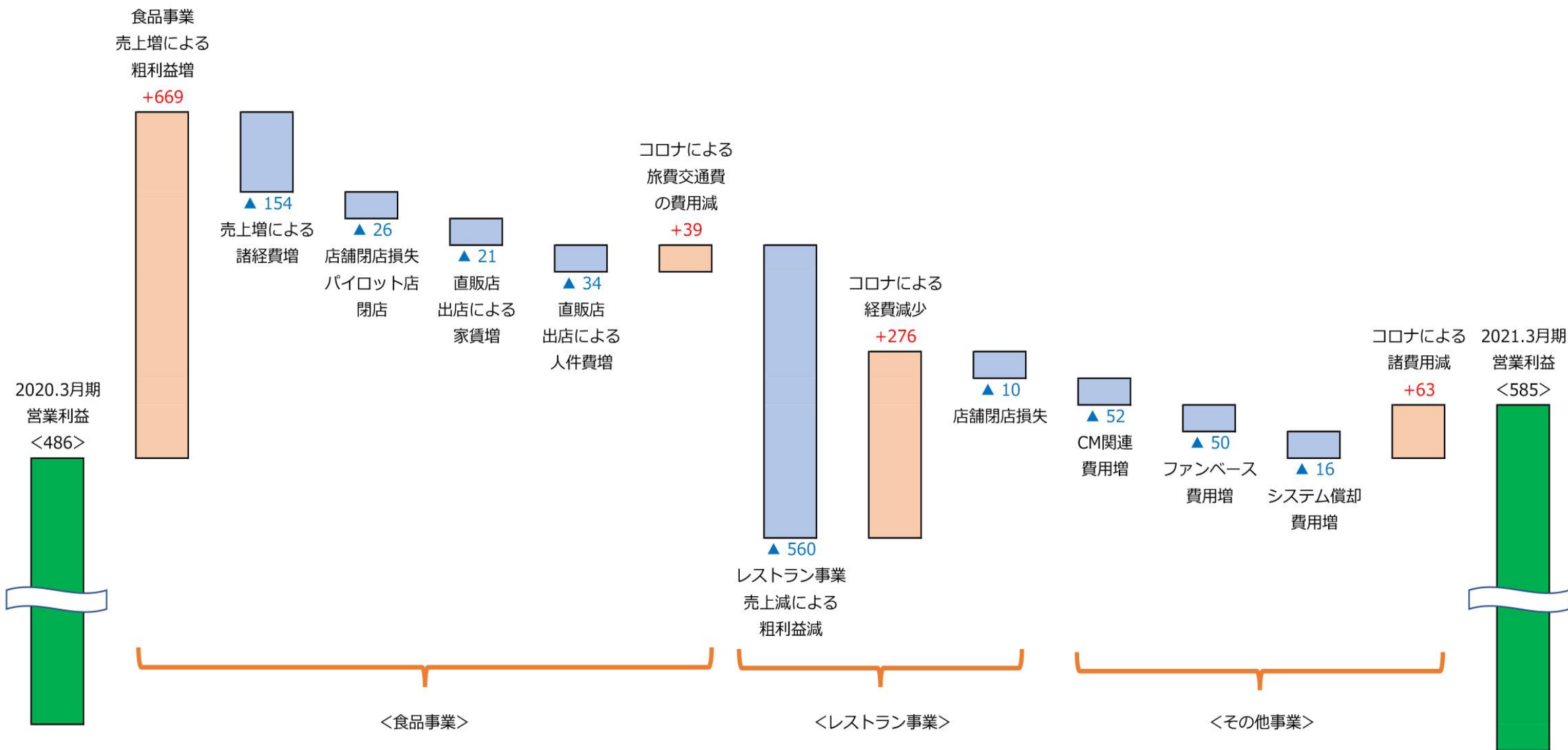
主力の280mlラインナップ

● 損益計算書

単位：百万円

【連結】	17年3月期	18年3月期	19年3月期	20年3月期	21年3月期	22年3月期 (計画) ※新会計基準
売上高	9,825	9,618	9,683	9,548	9,869	8,860
営業利益	496	518	538	486	585	650
経常利益	474	510	530	477	575	630
親会社に帰属する 当期純利益	469	284	288	221	320	380

● 2021年3月期連結営業利益増減要因



● セグメント別数値

単位：百万円

項目		20年3月期	21年3月期	前期比	
				金額	比率 (%)
食品事業	売上高	6,947	8,076	+1,128	116.3
	営業利益	1,837	2,323	+486	126.5
レストラン事業	売上高	2,431	1,626	▲805	66.9
	営業利益	▲28	▲329	▲300	－
その他事業	売上高	169	167	▲1	99.0
	営業利益	89	89	+0	100.2
計	売上高	9,548	9,869	+321	103.4
	営業利益	1,898	2,083	+185	109.8
消去又は全社	売上高	－	－	－	－
	営業利益	▲1,411	▲1,498	▲86	－
合計	売上高	9,548	9,869	+321	103.4
	営業利益	486	585	+98	120.4

● 設備投資計画

単位：百万円

項目	20年3月期	21年3月期	22年3月期 (計画)	22年3月期主な設備投資計画
食品事業	1 5 5	4 8 9	3 4 9	・ 直販店 1 店舗出店 ・ 工場設備改修
レストラン事業	1 2 6	8 2	3 8 0	・ 新店 4 店舗出店
本社その他	2 8 2	3	3 6 9	・ 本社空調工事
合計	5 6 3	575	1, 0 9 9	

●サステナビリティへの取り組み

美しい森と水と土を守るために

成長が早く、補充が持続可能なエコ素材
「竹製」の箸（熊本の企業が製造）を
2019年からレストラン店舗で使用。
サラダの具材がつかみやすいとお客様に好評。



2016年、ボトル軽量化(本体・中キャップの廃止)によるプラスチックの削減。現在、バイオマスプラスチック製への切替を目指し、製造ラインでのテスト中。

